

### 市内3小学校の6年生が税金学ぶ

1月、小林小、三松小、細野小の3校で、税金についての授業が行われました。市役所の税務課職員3人がアニメやクイズで、税の仕組みを解説。各校の6年生が、母校の運営にいくら使われているかや、暮らしの中で税がどう使われているかを学びました。



### 山之口原地区が功労者賞を受賞

1月19日、県農地中間管理事業推進大会が行われ、積極的な農地集約などの働きかけを行ってきた山之口原地区が、功労者賞を受賞しました。賞を受け取った東方営農組合の武田四男組合長は「今後も一丸となって、農業の維持と発展に努めたい」と話していました。



### ピアニスト清塚信也さんが学校訪問

ピアニストの清塚信也さんが、1月24日に文化会館で開催されたコンサートの前日、南小と野尻小を訪問し、公演を行いました。清塚さんは、モーツァルト、ベートーベンなどのクラシック曲に加え、アレンジしたゲーム音楽や即興を披露し、教室を沸かせました。



### 税に関する絵葉書で5作品が入賞

2月、小林法人会主催「税に関する絵葉書コンクール」の表彰式が各学校ありました。西諸地区の小学6年が対象で、市内からは5作品が入賞。女性部会長賞の小林小6年内之倉亜美さんは「輝く未来のために税金があることを描きました」と話していました。



### 家庭の大切さ標語・作文に優れた作品48点を表彰

1月30日、「青少年健全育成標語」と「家族の作文」の表彰式が、中央公民館で行われました。式には各賞を受賞した36人が出席。表彰後、受賞者を代表して、17人が作品を読み上げました。標語は市内の小中学生から一般まで692点、作文は市内小・中学生から1425点の応募がありました。



表彰を受ける受賞者。入賞作品は標語21点、作文27点。受賞者や標語の優秀作品などは、市ホームページで公開しています

### 食生活の大切さを学ぶ「弁当の日大学」

2月1日、食育講演会「弁当の日大学」が文化会館でありました。教員や保護者ら約150人が参加。講演会やパネルディスカッションで弁当の日の意義と今後の展開を考えました。講演会では、弁当の日の提唱者竹下和男さんが登壇し「子どもは置かれた環境に適応する。食の環境は大切」と話していました。



講演をする竹下さん。エントランスでは弁当販売や地産地消、食のコーナーが設けられ参加者は、食について学んでいました



投影された幻想的な絵と音楽に合わせ古事記を読み上げた柴田さん。小林中、須木小・中学校でも古事記の講演が行われました

### 女優柴田美保子さんら講師に野尻中で3日間の特別授業

1月21日～23日、野尻中学校で“黄金の3日間”と題し、外部講師による出前授業や講演が行われました。講師は、横山由美アナウンサー、前田喜輝副市長や小林ライオンズクラブなど総勢41人。22日は女優の柴田美保子さんらが来校し、古事記をテーマとした講演が行われました。



血圧測定の体験をする生徒ら。同12日には、医療機器メーカーから講師を招き、同様のキャリア教育を行いました

### 看護師らの声を進路の参考に細野中で社会人の声を聴く会

1月29日、「社会人の声を聞く会」が細野中でありました。講師は、4月に開校する小林看護医療学校の教員に就任予定の山元とも子さんと深見信子さん。山元さんは、同校1年生30人に、仕事や進路を説明し「命を育むお手伝いをする、やりがいのある仕事です」と話していました。

### 県社会教育功労者・団体表彰市から1個人・1団体が受賞

多年、地域の社会教育に貢献のあった個人、団体への表彰式が、昨年12月19日にありました。市から社会教育功労者に、社会教育委員の田原博子さん（真方）、社会教育優良団体に、子どもの体験活動を行っている「われらフロンティアキッズ実行委員会」（野尻）が選ばれ、表彰を受けました。



西都市で開催された表彰式で、表彰を受ける田原さん（写真左）と、「われらフロンティアキッズ実行委員会」の佐藤徹実行委員長（右）

### 世界で岩瀬川のみで生息するオオヨドカワゴロモを守る

1月24日、世界で小林の岩瀬川のみで生息する絶滅危惧種「オオヨドカワゴロモ」の保護活動が行われました。宮崎植物研究会や市民有志など約45人が参加。同研究会会員の赤木康さんは「保護活動のおかげで生育状況は順調。これからも継続していきたい」と話していました。



この活動は今年で20年目。参加者はデッキブラシや竹ぼうきを使い、光合成や受粉の妨げになる泥やコケを丁寧に取り除いていました。

### 新入学児童にランドセルカバー贈呈

小林ライオンズクラブから、市内の各小学校の新入学児童に、ランドセルカバーが贈呈されました。新しく小学生になる児童が安全に登下校できるようにと、12校に380枚を贈呈。2月、同クラブの会員らが各小学校を訪れ、贈呈式を行いました。



### 豊かな森を未来に繋ぐため植樹祭開催

2月7日、北霧島水源の森づくり推進会議主催の「もみとどんぐりの植樹祭」がありました。市民ら92人が参加し、もみとどんぐりの苗600本を植樹。同会の山之口志朗議長は、「次の世代に豊かな森をつなげるために続けていきたい」と話していました。



### バスケットボールの祭典に500人

2月11日、小林バスケットボール協会が主催する「KOBAYASHI BASKETBALL FES.」が市民体育館で開催されました。市内外から、子どもから大人までの500人が参加。3対3、フリースロー大会やスキルアップ教室などで交流を深めました。



### 親子90人が「海幸山幸」を堪能

2月12日、観光列車「海幸山幸」に乗って、列車旅を楽しむ「子育て応援列車」の運行が、吉都線でありました。小林駅周辺や中心市街地の活性化に取り組む「こばやし未来研究所」(堤田忍所長)が補助を受けて実施。90人の親子が参加し、車窓や食事を満喫しました。



### 能登町の取り組みをヒントに内山地区で地域おこし講演会

2月14日、姉妹都市能登町のまちおこし団体「春蘭の里実行委員会」の多田喜一郎さんによる講演会が、内山地域福祉センターで開催されました。須木内山地区の「山びこの里実行委員会(上原勝会長)」が主催し、住民ら80人が参加。先進的な農家民宿や農業体験交流などの取り組みを学びました。



講演する多田さん。上原会長は「多くの住民が講演会に足を運んでくれたことが、まちづくりの大きな第1歩」と話していました

### 京フィルメンバーが楽器指導 中高生らプロの技術学ぶ

2月15日、プロの合奏団、「京都フィルハーモニー室内合奏団」のメンバーによる楽器指導が文化会館でありました。西諸地区の中学、高校の吹奏楽部や社会人団体ら106人が参加。フルートやオーボエなど楽器別で8パートに分かれ、プロの演奏家の呼吸法や楽器奏法などを学びました。



フルートを指導する市川えり子さん。午後からは、西諸地区の小中学生を対象にした無料の鑑賞会も行われました



「介護は、する方もされる方も大変。医療費もかかる。だからまずは予防に努めよう」と笑いを交えながら話す毒蝮さん

### 「よくしゃべってよく笑おう」 毒蝮三太夫さんが講演

2月8日、介護予防フォーラムが文化会館で開催されました。市民ら約500人が来場。認知症サポーターリーダーの報告や表彰などがありました。講演には、タレントの毒蝮三太夫さんが登壇。得意の毒舌を織り交ぜながら「よくしゃべって、よく笑うことが予防になる。楽しく生きよう」と話していました。



講演する間寛平さん。エントランスホールでは、血管年齢・骨密度測定や手作りの「のっぺい汁」の振る舞いなども行われました

### お笑い芸人の間寛平さん アースマラソンの裏話で笑い

2月11日、こばやし健康フェスティバルが文化会館でありました。延べ2200人が来場し、健康関連イベントや講演会などを実施。講演では、タレントの間寛平さんが登壇し、世界一周をした「アースマラソン」の裏話をギャグを交えながら話し、会場は終始笑いに包まれていました。

### もっとよりよい福祉のまちに 功労者表彰と金婚・米寿祝う

2月6日、地域福祉の向上を目指す「こばやし福祉推進大会」が文化会館で開催されました。福祉功労者の表彰と、金婚夫婦97組、米寿者91人を祝いました。表彰を受けた個人・団体(敬称略)＝華扇舞踊協会、南真方西区長寿会、永田いきいきサロン、跡瀬いきいきサロン、平川和夫、種子田陽子、市原ツユミ、田爪隆幸、坂下利満



金婚者を代表して終山林一・カツ子さん夫妻が「健康は最大の財産。今後も元気に楽しい人生を送っていききたい」と謝辞を述べました

### チョウザメと学校の連携報告 ご当地グルメ提供店舗が追加

2月9日、チョウザメ・キャビア課と、連携して事業を行ってきた学校の報告会が中央公民館でありました。須木小、小林高校放送部と秀峰高校農業科の児童・生徒らが、取り組みを報告。また、チョウザメにぎり膳の新規提供店舗として(有)ホテルプラザへの、認定書の授与式もありました。



認定書を授与された(有)ホテルプラザ。(写真左)「チョウザメの世界」の題目で作文を発表した須木小5年の水谷香風さん(右)